

草地改良技術等の普及に関する研修会開催要領
〈オンライン方式〉

1 趣 旨

新たな「食料・農業・農村基本計画」において、総合的かつ計画的に講ずるべき施策として、スマート農業技術等を活用した省力的な生産管理や生産性の向上を進め、地域の実情に応じた国産飼料の生産・利用拡大を図る必要性が提言されたところである。

一方、酪農・肉用牛生産近代化基本方針においては、持続的な酪農及び肉用牛生産に向けた取組として、草地の適切な管理や草地改良、栄養価の高い青刈りとうもろこし、牧草、ソルゴー等の飼料作物の作付拡大を推進する方向性が示されたところである。

このような状況を踏まえ、牧草の品質や地力の向上に資するマメ科牧草の占有率を効率的に把握できるマッピング技術と活用策、北海道・東北における暖地型飼料作物の導入事例・新しい難防除雑草の防除方法及び草地改良対策の実施による効果について研修会を行う。

2 主 催 一般社団法人日本草地畜産種子協会

3 参集範囲 生産者、農協、農協連、市町村、関係機関・団体等

4 日 時 令和7年11月6日（木）13:30～15:30

5 次 第

(1) 開 会 13:30～13:35 (05)

(2) 基調講演 13:35～14:25 (50)

「ドローンによるマメ科率マッピング技術の開発と活用策について」
国立大学法人北海道国立大学機構

帯広畜産大学 環境農学研究部門 准教授 ^{かわむら けんすけ} 川村 健介 氏

〈要旨〉混播草地においてドローンを用いてマメ科牧草の割合（マメ科率）を効率的かつ高精度に評価・マッピングする技術及び合理的な施肥管理や草地更新に資する活用策について講演する。

(3) 情勢報告 14:25～14:45 (20)

「令和8年度草地改良関係予算概算要求の概要について」（仮題）

農林水産省 畜産局 飼料課 草地整備事業班 課長補佐 ^{ちしま たかし} 千嶋 崇志 氏

〈要旨〉草地基盤に立脚した足腰の強い畜産経営を育成するための令和8年度草地改良関係予算概算要求の概要について報告する。

(4) 事例紹介

ア「北海道および東北地方における暖地型飼料作物の導入について」（仮題）

14:45～15:15 (30)

雪印種苗株式会社 事業本部 トータルサポート室 担当部長 ^{さとう なりちか} 佐藤 尚親 氏

〈要旨〉温暖化を背景とした北海道および東北地方におけるソルガムの導入事例及び新たに開発されたスーダングラスの不耕起栽培により自給飼料生産を続けながらハルガヤ等難防除雑草を防除する方法について紹介する。

イ「草地難防除雑草駆除対策の実施による効果について」 15:15～15:30(15)
～ 草地難防除駆除技術実証事業優良事例集（令和4年度）より ～

上士幌町農業協同組合 畜産部 畜産課 高比良^{たかひら} 彪^{たけし} 氏

〈要旨〉国庫補助事業を活用して、難防除雑草の繁茂・裸地化の進行等により、生産性の低下した草地を高位生産性の草地へ転換した取組みを紹介する。

（５）閉 会

6 参加料：無料。ただし、インターネットに接続できるパソコン又はモバイルデバイス（内蔵スピーカー、又は外付けイヤホン）は参加者にてご用意願います。

7 視聴方法：Zoomにて実施いたしますので、Zoomに接続できる環境をご準備ください。
※後日、株式会社マイナビから参加予約者に向けて視聴方法のご案内を行う予定です。

8 参加申込み方法

（１）マイナビ農業サイト（URL：https://agri.mynavi.jp/2025_09_16_365467/）からお申込みください。

申込期間：令和7年9月16日（火）から11月4日（火）



（２）参加予定枠 150名程度

9 問い合わせ先

（１）Web研修会の実施内容に関すること

一般社団法人日本草地畜産種子協会 草地畜産部 担当：坂本
（TEL：03-3251-6501 E-mail：k-sakamoto135@souti-fsa.or.jp）

（２）Web研修会への参加方法及びWebサポートに関すること

株式会社マイナビ 地域活性CSV事業部 担当：谷藤、西谷、諸富
（TEL：070-4847-3357 E-mail：agri-webcast@mynavi.jp）